



平成 23 年 5 月 12 日

各 位

会 社 名 シンワオックス株式会社
代表者名 代表取締役社長 橋本 幸延
(コード番号 2654 大証第二部)
問合せ先 管理本部本部長 本多 宏毅
(TEL. 06-6683-3101)

「継続企業の前提に関する注記」の記載解消に関するお知らせ

当社は、本日発表の「平成 23 年 3 月期 決算短信」において、「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

当社グループは、前連結会計年度末において、6 期連続の経常損失を計上しております。

このような状況のなか、当第 3 四半期連結累計期間においても経常損失 56 百万円、四半期純利益は、堂島ホテル株式会社の株式を譲渡し 20 億 2 百万円の特別利益を計上したことにより、17 億 68 百万円を計上したものの当第 3 四半期末現在 5 億 42 百万の債務超過となっておりました。

当該状況により、当社グループには継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しておりました。

当社グループでは、当該状況を解消すべく、堂島ホテル株式会社の株式を売却し、安定的に収益を生み出す卸売事業・給食事業に経営資源を集中させ「安定収益の確保」による「キャッシュフローの改善」を図り、親会社であります株式会社 Persons Bridge より 5 億円、主要株主であります株式会社ベストライフより 1 億円の合計 6 億円の債務免除を受け「財務基盤の改善」を図りました。

また、各事業セグメントの取組では、①卸売事業は、需要が伸び悩む中、高利益商材に絞った販売を継続実施したほか、取引先の選別による効率化をはじめ、人件費等のコスト圧縮に努めたことにより、売上規模は縮小されたものの確実に利益の出せる体質になりました。②給食事業は、従来より、売上高、営業利益とも安定的に計上しております。③当期より開始した介護福祉施設の入居斡旋業務も確実な収益として寄与いたしました。

その結果、当連結会計年度において、経常利益 83 百万円、当期純利益 27 億 46 百万円を計上し、当連結会計年度末現在の純資産は 4 億 47 百万円となり債務超過を解消いたしました。

以上のような卸売事業・給食事業への経営資源集中による安定収益の確保および入居斡旋業務よりの新たな収益の確保、有利子負債の削減による財務基盤の健全化の進展により、平成 23 年 3 月期において継続企業の前提に関する重要な疑義を抱かせる事象又は状況は存在しないものと判断し、「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消することといたしました。

当社グループでは、より安定した収益構造の確立で財務基盤の強化を推し進め、更なる業績向上と企業価値の向上に努めてまいります。

以 上